

となりぐみ 21

大森西地区地域情報紙

《発行》
地域力推進大森西地区委員会
《編集》
となりぐみ21編集委員会
《事務局》
大田区大森西特別出張所
所在地：大森西2-16-2
電話：3764-6321
大森西管内人口 令和7年11月1日現在
人口：61,610名
世帯数 37,441世帯

【ホームページ版「となりぐみ21」開設中!～ぜひご覧ください～】

大田区ホームページ 地域情報紙となりぐみ21

検索

※
謹賀新年

大森西地区自治会連合会
会長 濱 勝康



新年あけましておめでとうござ
います。日頃より大森西地区自治
会連合会の活動にご理解、ご協力
をいただき感謝申し上げます。

昨年を振り返り、何より喜ばし
かったことは、大森西地域力推進
センターの誕生です。

九月十五日の開設セレモニーを
経て、第1期として特別出張所、
保育園、地域包括支援センター等
六の施設がオープンされました。
複合化により、区民サービス、利
便性が向上していくとともに、体
育室や音楽スタジオ、芝生ひろば
等の場では、多くの皆様の交流が
育まれ、地域の輪が広がっていく
ことを期待しております。

また、昨年は豪雨による浸水も
あり、首都直下型地震も然り、災
害のリスクが高まる中、地域にお
いては行政のみならず多様な力が
一体となつての防災力の強化が
益々重要になると考えます。

当連合会では、災害時に避難行
動要支援者自らがタオルを玄関に
掛ける行動をとることで、安否の
意思を表示し、二十一の自治会・
町会がその確認を担う訓練を行っ

ております。また、地域防災ボラ
ンティアと称し、小・中学校の児
童・生徒の保護者、おやじの会の
皆様に、避難所訓練の参加等を呼
び掛ける取組も進めております。
いずれも、継続的に行うことで、
地域の防災意識を高めるととも
に、包摂的な地域づくり、担い手
づくりに繋げてまいります。

また、毎年秋に開催し、次回は
第十回となる「ふる浜まつり」や
各町会における祭礼等は、多世代
の皆様が行き交う、地域コミュニ
ティを育める場であり、連合会と
して、本年も注力してまいりま
す。

鈴木区長の元、掲げられました
大田区の基本構想「心やすらぎ
未来へはばたく 笑顔のまち 大
田区」の実現に向けて、大森西地
区自治会連合会と致しまして、
大森西地域力推進センターと
も、地域防災力の強化、賑わいづ
くりを始め、地域の課題解決に向
けて、一層尽力してまいります。
結びに、皆様のご健勝とご多幸を
祈念し年頭のご挨拶と致します。



大森西地域力推進センターセレモニーにて

第9回 ふる浜まつり

十月十二日(日)、大森西地
区自治会連合会主催の「第九回
ふる浜まつり」が開催されまし
た。

本来であれば、大森西地区の
象徴「大森ふるさと」の浜辺公
園での開催を予定しておりま
したが、台風二十三号の影響を
受け、設営、及び当日における
安全など総合的に判断し、会場
を大森東小学校へ変更し、開催
しました。



特に、恒例の大田市場で取り
扱っている採れたての野菜・
卵、秋田県横手市大森町のお米
の販売コーナーには、開会前か
ら多くの方々にお越しいただく
など大盛況でした。



ふる浜まつりから生まれたキャ
ラクターの「コハマちゃん」が開
会式に、はねぴよんと登場し、地
域の皆様へお披露目。その後の撮
影コーナーには、多くの子どもた
ちが集まり、お楽しみいただきました。

また、体育館ステージでは、
地域の学校・団体による、よさ
こい、和太鼓、金管バンドが、
踊りや演奏で彩り、盛り上げて
くれました。

来年も、大森西地区が一丸と
なつて、地域の皆様にお楽しみ
いただけるよう企画してまいり
ます。



編集部

「となりぐみ21」は各ご家庭に配布しています。一部ずつお取りください。

お祭りに 彩りを添えた提灯

世の中のコロナ騒動は、やっと落ち着きを取り戻し、生活が日常化してきました。

恒例のお祭りも、五月二十四日、二十五日に、掛け声と共に元気良く、大人も小人も楽しそうに、無事終わる事ができました。

「わっしょい わっしょい」かと思いきや、時代の流れに「せいや せいや」に変わってきました。

山谷自治会のお神輿も久し振りのお出ましでした。

最近では少子化で巷の子供の姿が淋しかったのですが、やはりお祭りとなると元気一杯の子供が揃い、お父さん、お母さん、家族みんなで山車を引っ張って、とても楽しい光景でした。

町会の瀧田様が、大神輿先導用提灯、一對を山谷陸会に寄贈して頂きました。



大きく、立派で光り輝き、お祭りを尚一層盛大にしてみました。

本場にありがとうございました。

女性部の方々にも、初めての方が多い中、無事終わり、本当にご苦勞様でした。

来年も、平和で元気に、お祭りが開催できますように願っています。



大森山谷自治会 高橋 敏枝

空襲の日を 創立記念日とした 大森学園

大森学園高校のはじまりは昭和十四年に東京市大森区所在の中小機械工場経営者の協力により大森工業機械徒弟学校を創立した事がはじまりです。初代校舎は最先端の建物で当時珍しい水洗トイレがあつたそうです。

その後昭和十七年に大森工業学校に変更され、昭和二十年四月十五日の夜に大森付近での空襲により、初代校舎や創立当初の資料等が焼失してしまいました。この空襲は三月十日の東京大空襲に比べ死亡者数は少ないものの大森の町は壊滅的な被害がありました。昭和二十三年の校舎再建まで森ヶ崎の工場を借りて仮校舎としておりました。



戦後、四月十五日が創立記念日になり現在に至ります。戦後八十年が経ち当時を知る方が少なくなっており風化が進んでおります。末永い平和を願いたいと思います。戦前の初代校舎(昭和十四年から昭和二十年四月十五日までの校舎)



大森学園高校の校名の移り変わり等は学校HPの沿革をご覧ください。(右の写真は現在の校舎)

大森三輪町会(大森工業卒)渡辺 亮

花火とスイカ割り

八月二日(土曜日)夜七時から地域のラジオ体操メンバーの有志で大森東一丁目第二公園で花火とスイカ割りが行われました。



初めてという事もあり、健友会の緑川会長はじめお世話役の方は、準備等々、大変だったと思います。

スイカ割りの後は、きれいに切ったスイカを振る舞って頂き、暑い中での冷えたスイカを美味しくおぼりました。

その後、手持ち花火を皆でやりながら、子供の頃を思い出し、会話も弾み、楽しいひと時を過ごしました。

大森東一丁目団地自治会 矢島 レイ子

「この街に生きる」 七月六日(日)

大森東福祉園まつりを開催、九時三十分開始、各町会、自治会と実行委員会の皆さんがバザーを開催、毎年行われている行事ですが朝早くから整理券を頂き、入場待ちの間で知り合いと交わす言葉は、「欲しいものあるといいね。」



開場となると知り合いの実行委員会の皆さんと挨拶を交わしテール台に並んだ商品を手に取り品定め、買った商品を袋に入れ会場をぶらぶら。会場外では縁日のように屋台で地域の和菓子や焼きそばや野菜の販売。福祉園の入口では子供達の好きな綿菓子など販売、楽しめた一日でした。

大森東一丁目団地自治会 緑川 祐弘